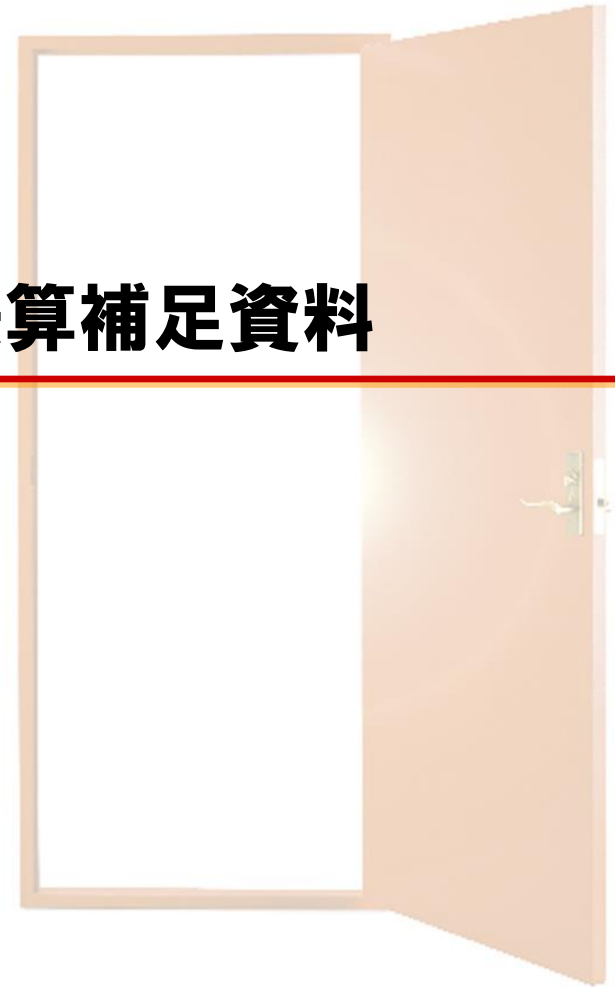


平成26年8月期(50期) 決算補足資料

平成26年10月8日

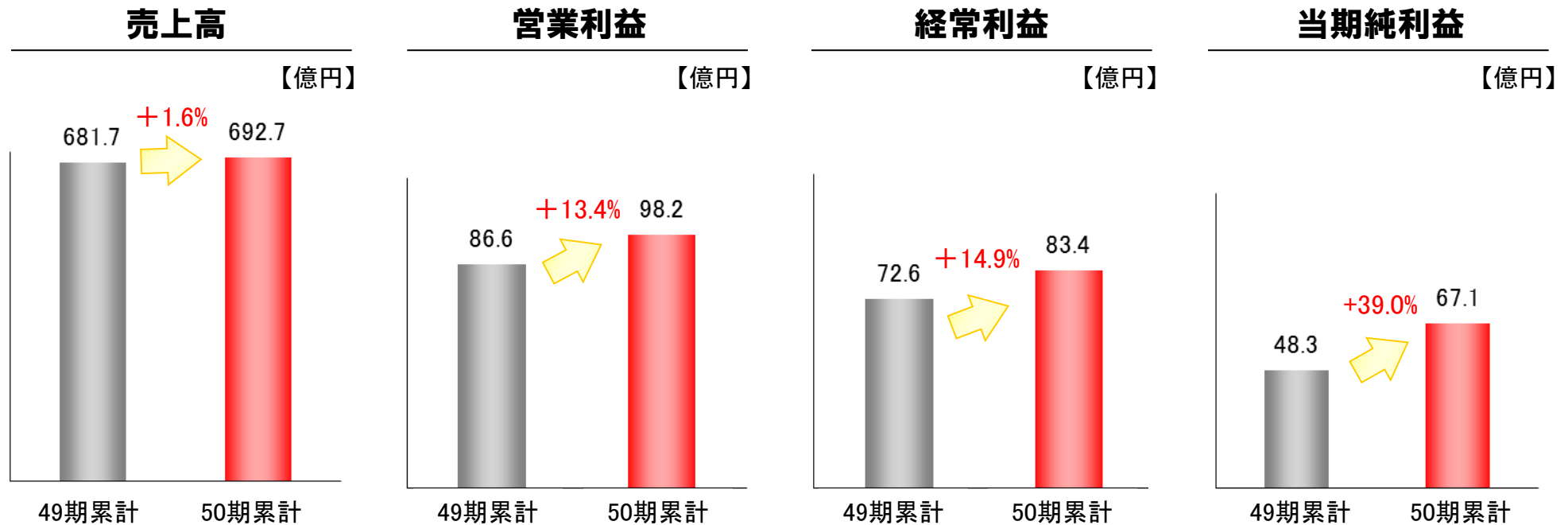


目次

- 1. 業績関連 ... P2
- 2. 財務／経営指標関連 ... P8
- 3. 事業関連 ... P13
- 4. 第4四半期TOPICS ... P16
- 5. 免責事項 ... P21

|| 業績関連 || 50期通期連結業績(前期対比)

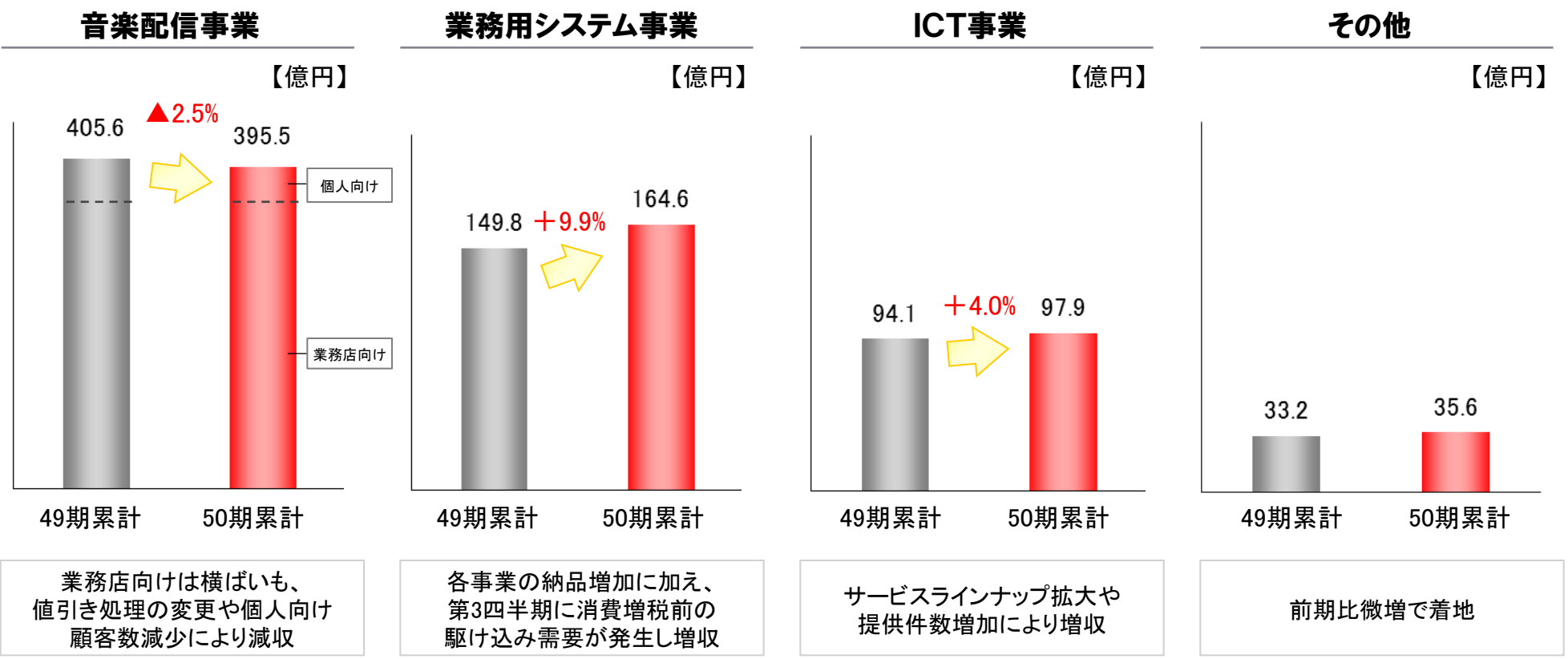
- ・ 売上高は、音楽配信事業で基幹システム変更による前受け値引き処理変更や個人向け顧客数減少により減収ながら、業務用システムやICT、集客支援など各事業が堅調に推移したため増収を達成
- ・ 各事業の堅調な推移により営業利益、経常利益は前期比で10%超の増益を達成、当期純利益も39%の大幅増益となり2001年の上場来最高益



※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

|| 業績関連 || 50期通期経営成績(前期対比)

セグメント別 売上高



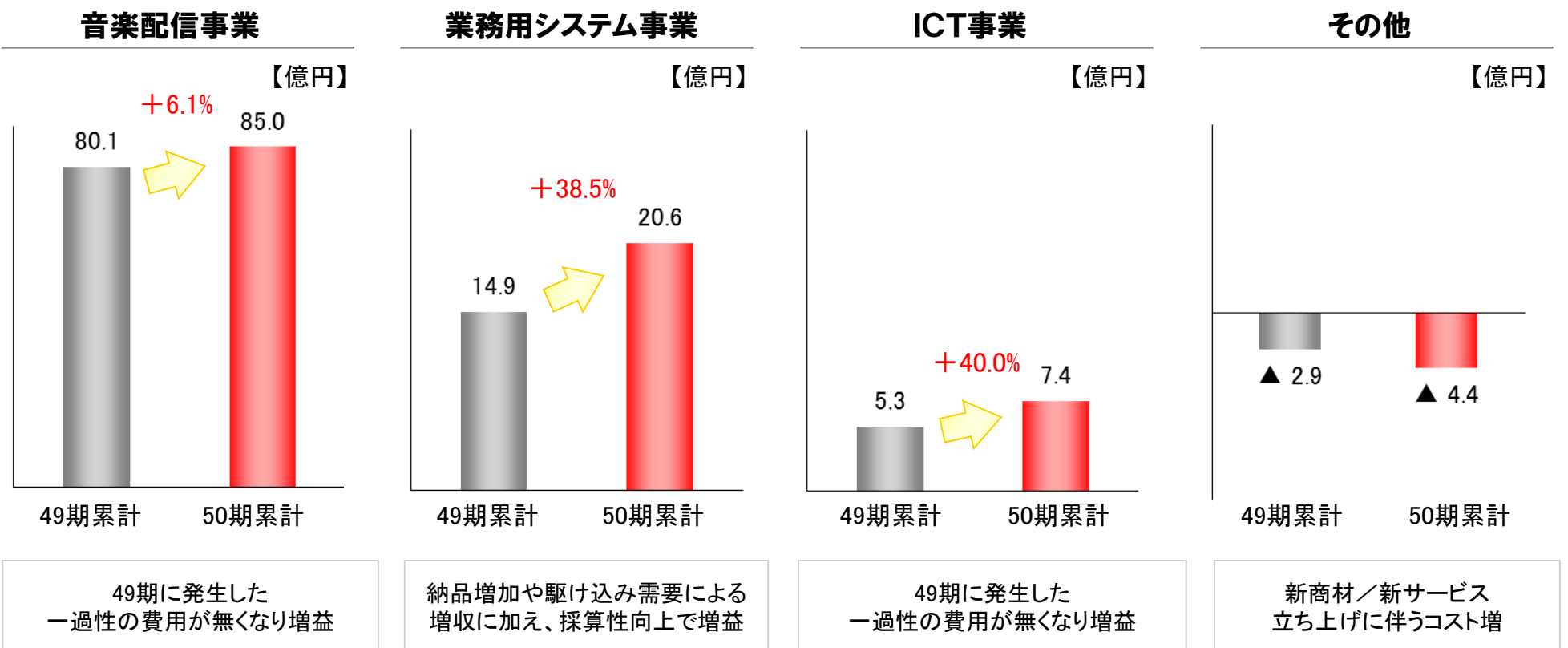
(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

※ 49期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲1.1億円の調整を行っております

※ 50期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲1.0億円の調整を行っております

|| 業績関連 || 50期通期経営成績(前期対比)

セグメント別 営業利益



※ 49期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲10.8億円の調整を行っております
 ※ 50期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲10.4億円の調整を行っております

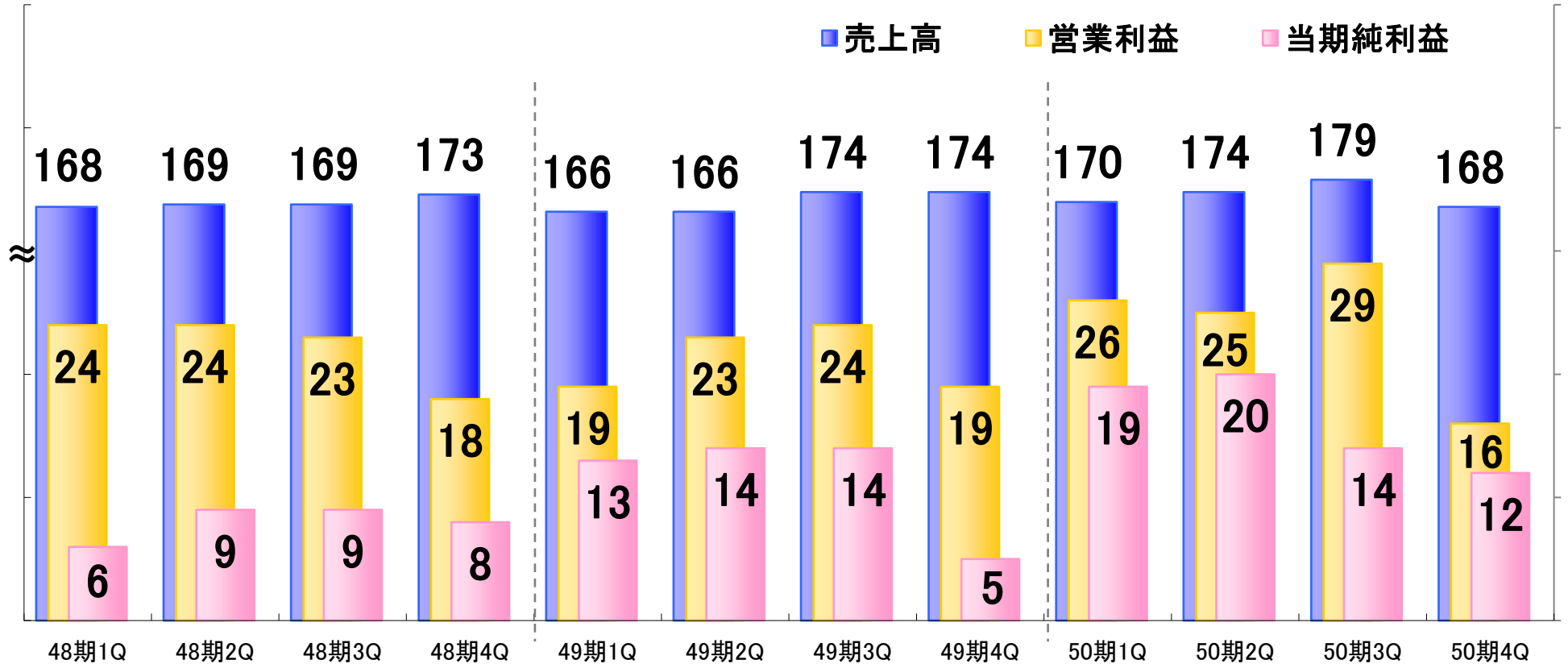
|| 業績関連 || 業績予想に対する達成率

	【単位:億円】	通期予想 (7/3修正予想) (A)	通期実績 (B)	達成率 (B÷A)
売上高		685.0	692.7	101.1%
営業利益		95.0	98.2	103.4%
経常利益		80.0	83.4	104.4%
当期純利益		60.0	67.1	112.0%

売上高、全ての段階利益において
第3四半期時点の上方修正予想を達成

業績関連 連結経営成績推移

【億円】



当四半期売上高は、消費増税前の駆け込み需要反動減及び基幹システムの
リプレイスに伴う一過性の前受け値引き処理変更により前四半期比で大幅減収。
減収に伴い営業利益、当期純利益も大幅減益で推移

※ 各数値は端数切捨て

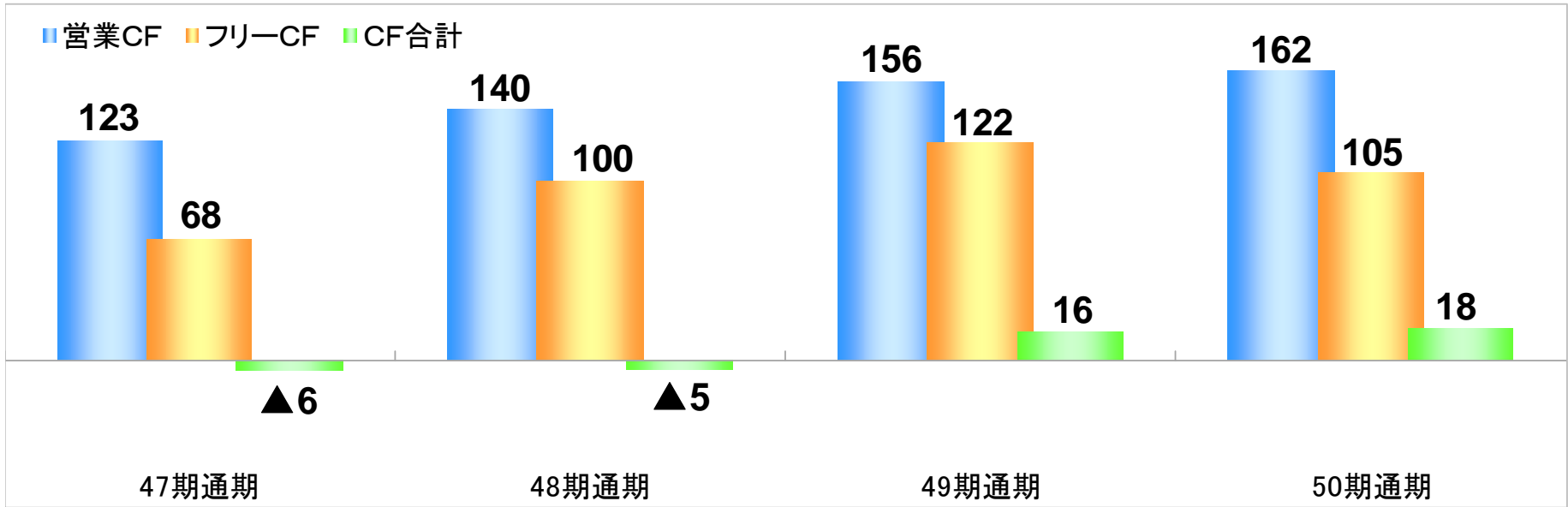
|| 業績関連 || 51期業績予想

	50期実績	51期業績予想
【単位:億円】		
売上高	692.7	700.0
営業利益	98.2	86.0
経常利益	83.4	80.0
当期純利益	67.1	60.0

将来の売上成長を優先し必要なコストを投下するため、
50期比増収ながら各段階利益は減益となる見通し

|| 財務／経営指標関連 || キャッシュフロー推移

【億円】



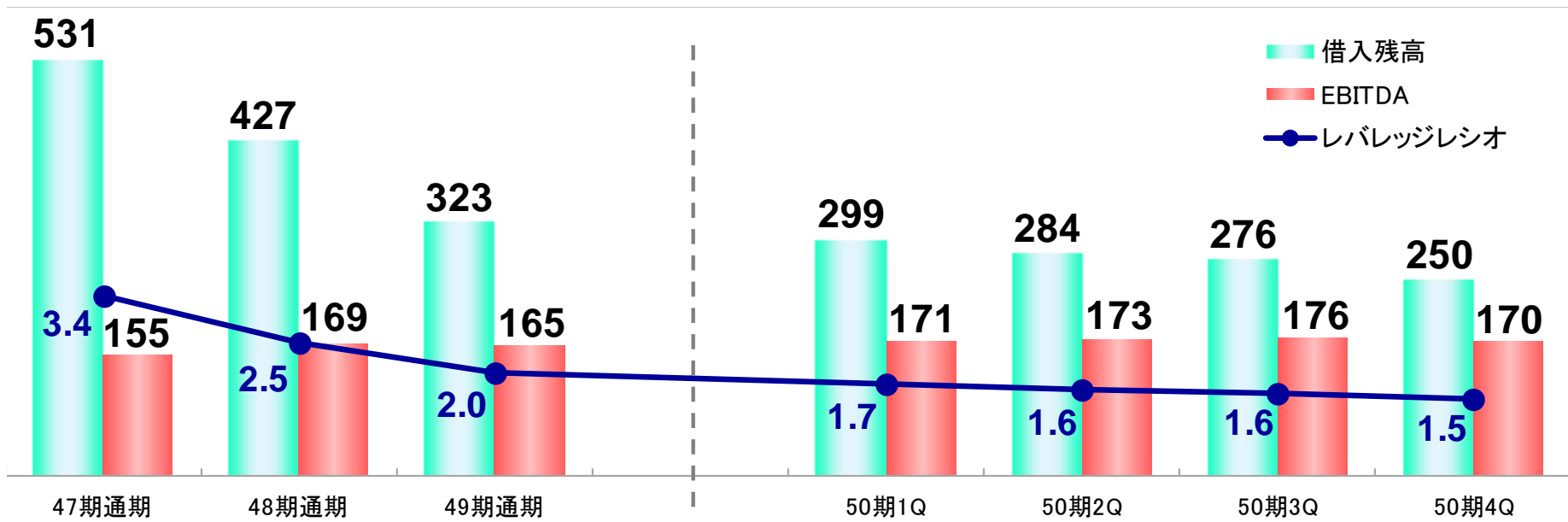
※フリーCF=営業CF+投資CF、CF合計=フリーCF+財務CF

<営業CF>	123	140	156	162
<投資CF>	▲54	▲40	▲33	▲56
<財務CF>	▲75	▲105	▲105	▲86

営業CF増加分を上回る投資CF支出の増加でフリーCFは前年比17億円減少も、借入返済ペースの抑制による財務CF支出減少でCF合計においては前期ほぼ同水準

|| 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

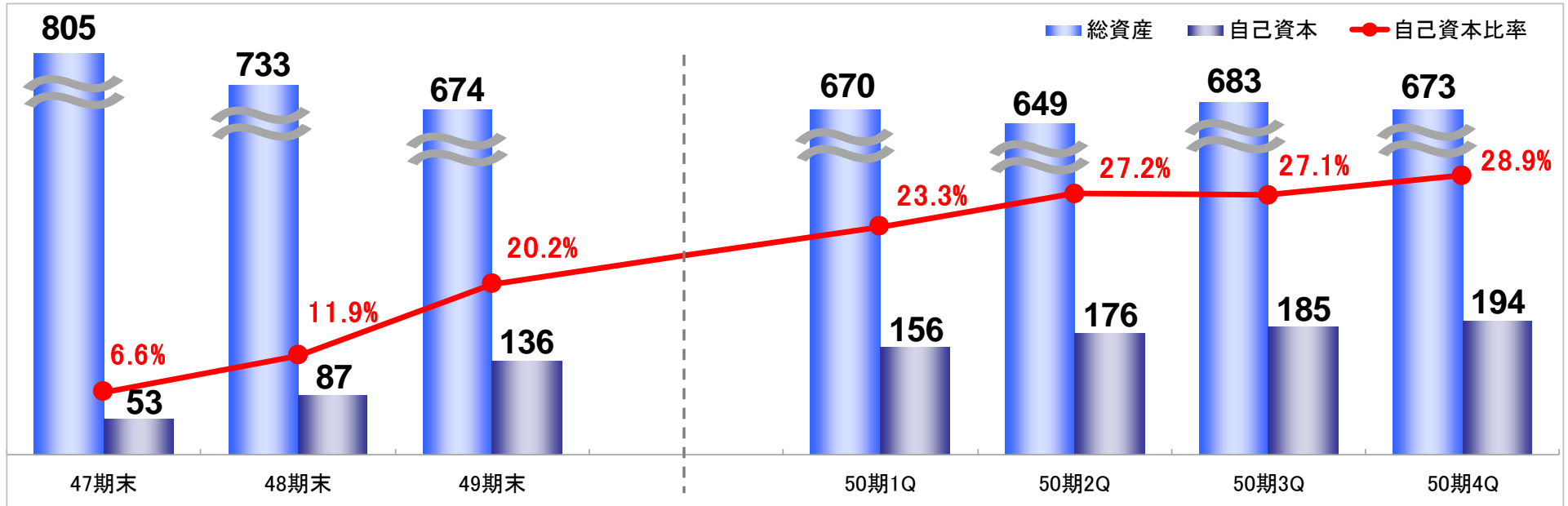
※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

年間を通じて70億円超の借入圧縮を実行、収益性を維持したため
レバレッジレシオは前期末から大幅に減少し1.5倍に

財務／経営指標関連 自己資本比率

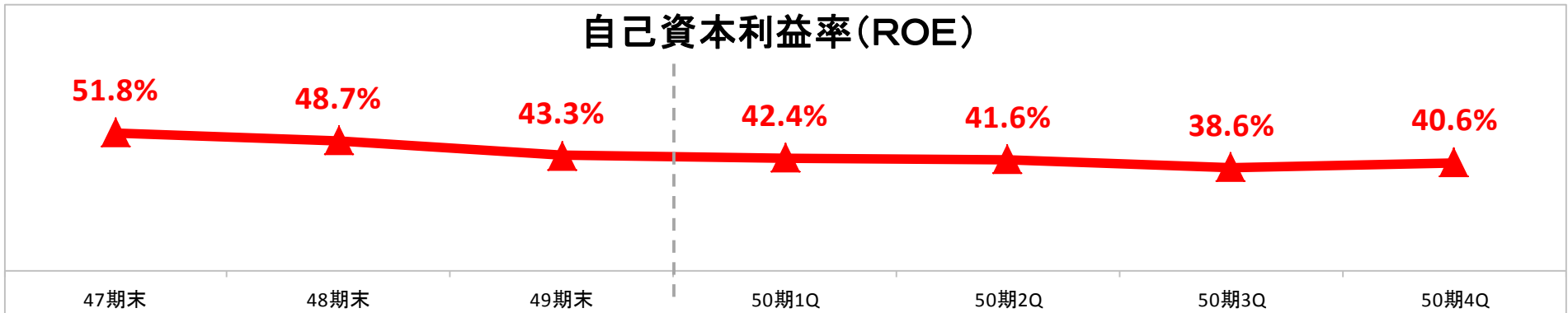
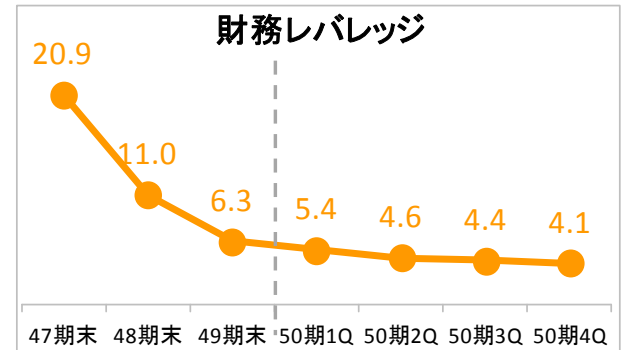
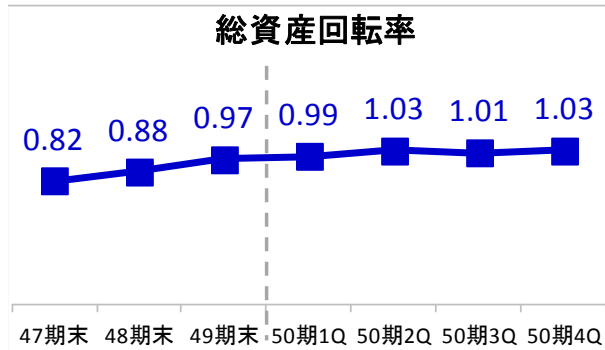
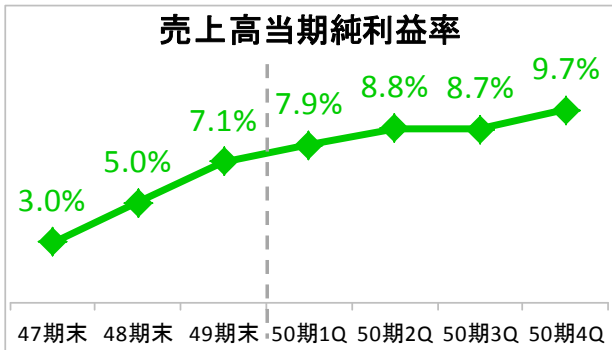
【億円、％】



※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

資産売却等によるバランスシートのスリム化が前期で一巡したため
今期末の総資産は前期比ほぼ同額で着地するも、安定的な当期利益の計上で
自己資本は着実に改善、自己資本比率は28.9%に

|| 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



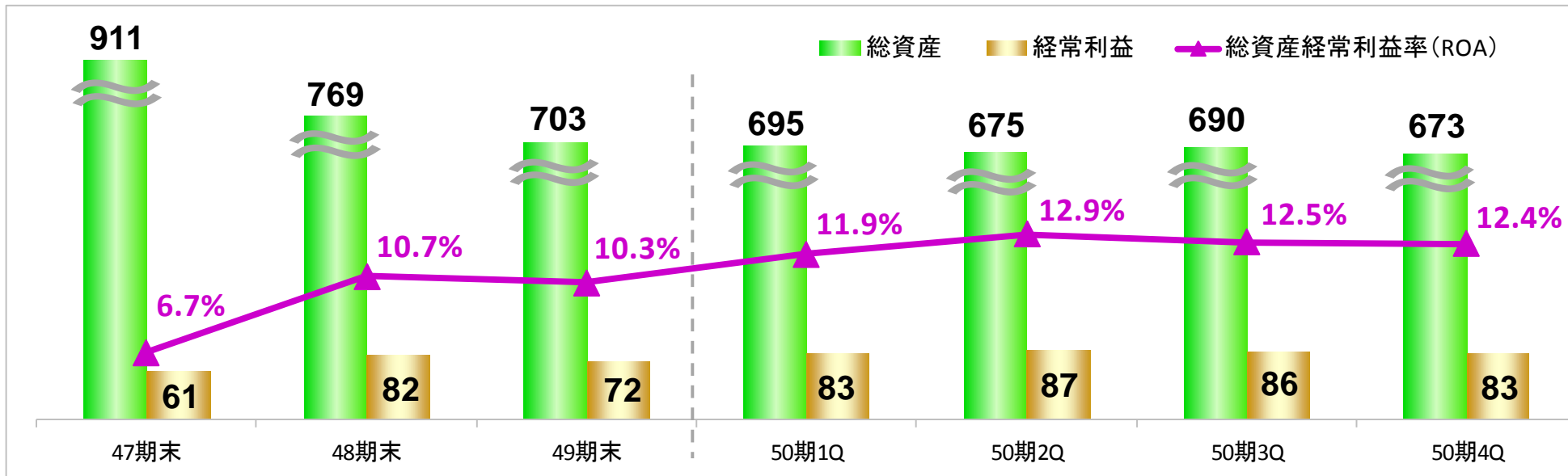
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は期中平均値

ROEの差別化要因である収益性(当期利益率)は増加トレンド、財務レバレッジは
 継続して低下も逡減傾向のため自己資本利益率は40%程度の高水準で安定的に推移

|| 財務／経営指標関連 || 総資産経常利益率(ROA)

【億円、%】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益／総資産 × 100

※経常利益は直近12ヶ月ベース、総資産は期中平均値

総資産、経常利益がほぼ横ばいだった結果、
総資産経常利益率は12%～13%の範囲で安定的に推移

|| 事業関連 || 音楽配信事業(新チューナー)

■2014年6月 コメント放送に対応した新チューナー「EZ-MESSE II」を発売開始

- 2006年に発売した「EZ-MESSE」の後継機
- 近年における放送スケジュールの多様化、録音/再生機能へのニーズ拡張を受け開発
- 店内や館内放送に求められる様々な業務用放送設備の機能を1台に凝縮

※後発事象として、2014年10月に本チューナーが「グッドデザイン賞」を受賞

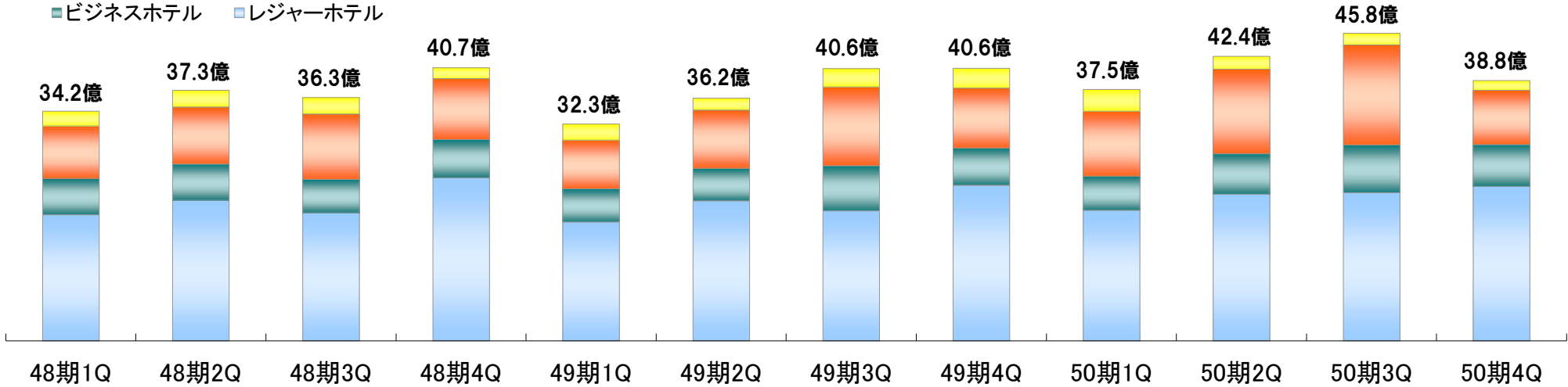


- ✓ 200種類以上のコメントやチャイム音源を標準搭載、オリジナル録音も可能
- ✓ 52週MD戦略を実現する年間放送スケジュールの運用が事業所側で可能
- ✓ 天候にも影響をうけず、5インチのカラー液晶による分かりやすい操作画面

|| 事業関連 || 業務用システム事業(売上ポートフォリオ)

■ 四半期推移

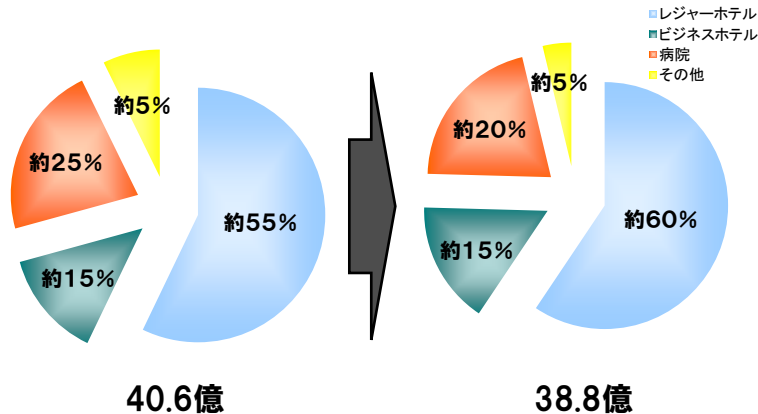
■ その他 ■ 病院
■ ビジネスホテル ■ レジャーホテル



■ 前期比

[49期4Q]

[50期4Q]



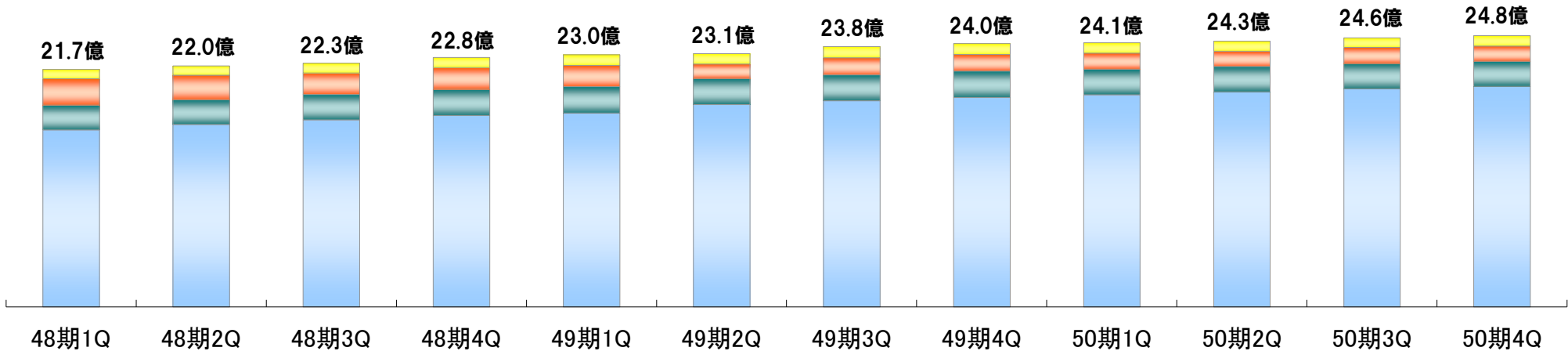
○ 消費税増税前駆け込み需要の反動減で減収

- 特に病院事業において、第2四半期～第3四半期にかけて発生した消費税増税前駆け込み需要の反動減が発生
- レジャーホテルに関しては大きな反動減もなく、増収傾向で堅調に推移

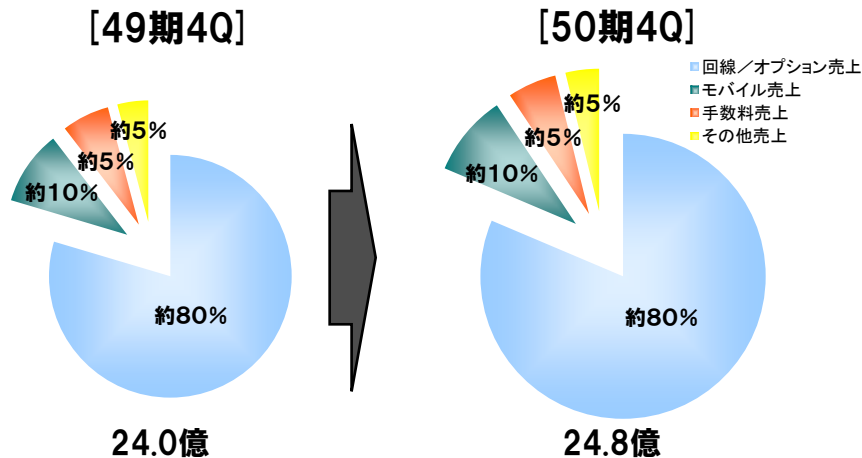
|| 事業関連 || ICT事業(売上ポートフォリオ)

■ 四半期推移

■ その他売上 ■ 手数料売上 ■ モバイル売上 ■ 回線／オプション売上



■ 前期比



○ 今期も年間を通じて増収基調を確保

- 回線／オプションサービスは引き続き増収基調を堅持
- 手数料、モバイル売上についてはやや微減傾向となっている
- 継続して競争が厳しい事業環境ではあるものの、引き続きクラウド系を中心とした新サービス／商材の取扱いによるラインナップ拡充で51期以降も増収を企図

|| 第4四半期TOPICS || IR/PR関連

>> 音楽配信事業関連

- 2014年6月 ●技術の継承と安全意識の啓蒙を目指し、USEN技術技能競技会開催
- 2014年8月 ●8/28オープンの「札幌三井JPビルディング 赤れんがテラス」へオフィスワーカーにも重点をおいたオリジナルBGMを提供

>> グルメサイト「ヒトサラ」関連

- 2014年7月 ●グルメ情報サイト「ヒトサラ」が女子会お誘い調整アプリ「Apoli」(アポリ)とデータ連携開始
- 2014年8月 ●「こどものヒトサラ」と「Oisix」が時短献立キット「Kit Oisix」の新メニューを開発し、期間限定販売へ

>> IR関連

- 2014年4月 ●単元株式数を1単元10株から100株へ変更(※再々掲)
- 2014年7月 ●公益財団法人財務会計基準機構に加入
- 2014年8月 ●JPX日経インデックス400構成銘柄に継続採用

|| 第4四半期TOPICS || 音楽配信事業

▶▶ 2014年6月5日～6日 「50期 USEN技術技能競技会」を開催

本大会は、「技術の継承」をスローガンに当社が長年培ってきた機器の設置/施工技術を競うものです。USENの業務を支える大事な技術者がお互いに切磋琢磨する大事な機会となりました。

今回は若手社員の育成を目的に位置づけたユース部門も新設しました。入社3年目の技術職全員がユース大会の参加を通して自身のスキルアップ、モチベーションアップを図ることが出来ました。



|| 第4四半期TOPICS || 音楽配信事業

▶▶ 8/28にオープンした「札幌三井JPビルディング 赤れんがテラス」にオリジナルBGMを提供
～ 音楽のもたらす作用をオフィスワーカーに ～

北海道の再開発地域として注目され、オフィスビルと併設する商業施設「赤れんがテラス」。

オフィス向けBGMサービス「Sound Design for OFFICE」を2013年春より展開しているノウハウを活かし、オフィスワーカーの仕事に良い影響を与えられるよう音楽がもたらす様々な作用を活かしたBGMで各エリアに最適な空間を演出しています。



共有通路 (B1-3F)



アトリウムテラス (2F)



バルテラス (3F)



共有通路 (4F)



眺望ギャラリー [テラス計画] (5F)

|| 第4四半期TOPICS || 集客支援事業

- ▶▶ 2014年7月4日 グルメ情報サイト「ヒトサラ」が女子会お誘い調整アプリ「Apoli」(アポリ)とデータ連携開始
- ▶▶ 2014年8月21日 「こどものヒトサラ」と「Oisix」が時短献立キット「Kit Oisix」の新メニューを開発、ママも子供も嬉しい2品が20分で完成！（期間限定発売）

鶏もも肉のチーズフライ 塩レモンソース



リボンパスタのコンソメスープ

サイトOPEN当初から「料理人の顔が見えるグルメサイト」として展開してきた「ヒトサラ」。安心安全で美味しい料理を提供するお店を選ぶ決め手となるグルメサイトとしてのブランド力もついてきたため、他企業とのコラボやデータ連携なども積極的に実施しています。

また、「ヒトサラ」の派生サイトとして2014年5月に誕生した「こどものヒトサラ」では食の安全にこだわるママ目線を大切にするため、USENのママ社員を編集長として起用しています。

単なる飲食店探しをするサイトではなく、レシピやQ&A、食育レポートなど充実したコンテンツを用意しママのトータルソリューション的なサイトを目指します。

|| 第4四半期TOPICS || IR関連

- ▶▶ 2014年4月1日 単元株式数を1単元10株から100株へ変更（※再々掲）
 - － 単元未満株式の買取・買増制度の提供

- ▶▶ 2014年7月7日 公益財団法人財務会計基準機構に加入
 - － 東証は上場会社に対して上場規程に定める企業行動規範において「会計基準等の変更等への的確な対応に向けた体制整備」を要請しており、当社も更なる体制強化を目途として当該団体に加入

- ▶▶ 2014年8月29日 JPX日経インデックス400構成銘柄に継続採用
 - － 当社は本年1月6日から本格稼働したJPX日経インデックス400の構成銘柄に採用されており、2014年6月最終営業日を選定基準日として銘柄の再選定が行われ31銘柄の入替が決定したが当社は引き続き構成銘柄に採用決定

|| 免責事項 ||

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。